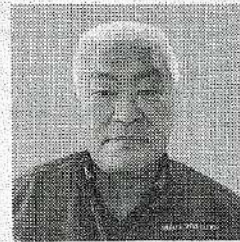


多様な働き方 多角化経営で支える

運送業の 中田商事

トラック運送が主力の中田商事（本社伊賀市荒木野々浦893の1、中田純一社長、電話0595・26・3535）は、徹底したグループ会社との連携を通じ、従業員一人一人のライフスタイルに沿った柔軟な働き方を提供している。中小企業では珍しい大手並みの多角化経営が多様な働き方を支える源泉だ。物流を中核に据えながら、グループで人材派遣、保育園（企業主導型）、サッカースタジアムなどを運営。三重県の「働き方改革推進企業」の県知事表彰（女性が働きやすい職場賞）を受賞するなど高く評価されている。

（三重・榎田宏行）



中田純一社長

トラックドライバーとサッカーの1級審判員の二刀流

で全国を飛び回る女性社員、自動車部品の配送とグループ運営のスポーツクラブチームに通う生徒たちの送迎バスの運転を兼務する60代の男性社員、倉庫リフト業務をメインに1日2時間程度、自社の保育園で補助業務に従事していた女性社員。中田商事ではダブルワークや、収入を目的としないパラルレルキャリアに従事している従業員は少なくない。



トラック運転手とサッカー審判の二刀流で活躍する女性社員

同社は女性の労働力に着目し、長年、働き方改革に取り組んできた。2018年、企業主導型保育園事業に参入。同時期にグループ会社として一般労働者派遣の事業会社・NSサービスを設立する。

保育園は現在、

働き方改革で知事賞も グループ会社との連携を徹底

グループ従業員はもちろん、取引先などのパートナー企業社員の子どもを受け入れており、地域の女性活躍と地域貢献の役割を果たしている。また、派遣会社の従業員は製造業などの地域企業で活躍するほか、中田商事グループでも働いている。例えば中田商事の従業員が休暇などで欠員が出た場合、派遣会社がカバーできるようにしており業務に支障がでることなく、状況に応じた労働力の最適化が図れる仕組みを整えている。

こうした取り組みが評価され、昨春秋には三重県の「働き方改革推進企業」として、中小物流業では初の、最高ランク「三ツ星」に認定された。中田社長は「従業員一人一人の生活と働き方に寄り添って、当社で働きたいと思ってくれることのできる職場環境づくりに引き続き注力していきたい」と話している。

中田商事は1995年創業。従業員は約70人。25年3月期の売上高（単体）は約6億5千万円の見通し。グループ会社・団体は、NSサービス（人材派遣）、三洋陸送（運送業）、NPO法人スポーツクラブどんぐり（スタジアム・スポーツクラブの運営）。グループ全体の従業員数は約110人。